

平成 28 年 10 月 28 日

6 年生保護者様

横浜市立平沼小学校
校長 小西 俊光

平成 28 年度全国学力・学習状況調査結果についてのお知らせ

平成 28 年 4 月に全国の 6 年生を対象に実施されました全国学力・学習状況調査の調査結果の概要をお知らせいたします。

1. 教科別学習状況調査の結果

(1) 平均正答率

	国語 A (知識)	国語 B (活用)	算数 A (知識)	算数 B (活用)
平沼小学校	76.8%	67.2%	79.7%	51.3%
神奈川県	70.3%	58.2%	76.6%	47.3%
全国	72.9%	57.8%	77.6%	47.2%

① 「主として知識を問う国語・算数A問題」、「主として活用に関する国語・算数B問題」とも、全国・神奈川県の平均よりも上回る結果となっています。

② 国語・算数ともに「活用に関するB問題」は、「知識を問うA問題」と比べ、全国平均より正答率がよい傾向にあります。

(2) 課題となる主な内容

教科	出題の主旨	正答率		
		平沼小学校	神奈川県	全国
国語A	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書く。	82.0%	84.1%	87.5%
国語B	グラフを基に分かったことを的確に書く。	42.7%	44.1%	43.4%
	目的や意図に応じて、グラフを基に、自分の考えを書く。	51.7%	50.2%	51.4%
算数A	除数が1より小さいとき、商が被除数より大きくなることを理解している。	57.3%	63.5%	64.8%
	小数の除法の計算をすることができる。	71.9%	73.0%	77.7%
算数B	グラフから貸出冊数を読み取り、それを根拠に、示された事柄が正しくない理由を記述できる。	20.2%	23.4%	24.9%
	単位量当たりの大きさを求めるために、ほかに必要な情報を判断し、特定することができる。	43.8%	47.7%	48.3%

※「課題となる主な内容」には、各教科の中から平沼小学校の正答率が全国平均と比べて下回っているもの、または差が少ないものを取り上げました。

2. 今後の取組について

【国語】

- (1) 漢字の成り立ちやつくりなど、漢字に親しみをもつことができるような学習を書写の時間等でも意識して取り入れ、国語の時間だけでなく、他教科等でも文章を書く活動を通して、正しい漢字を習得できるようにしていきます。
- (2) グラフを基に、分かったことを的確に書くことができるように、文章の要約や、自分の考えと図表

- やグラフなどとの関連付けを図るような操作活動を取り入れ、常に相手を意識した学習を行います。
- (3) 目的や意図に応じて、自分の考えをまとめることができるように、書きたいことの中心を明確にして、事柄を収集・整理して表現できるようにします。

【算数】

- (1) 基礎的な四則演算が確実に身に付くよう、スキルタイムなどを活用して習熟を図ります。
- (2) グラフを正しく読み取り、示された事柄と根拠の整合性を捉えることができるように、算数だけでなく、他教科等でも表やグラフから読み取ったことを友達と表現し合う機会を設けます。
- (3) 単位量当たりの大きさを求める際に必要な情報を判断・特定することができるように、数直線を用いたり、操作したりして情報を整理し、立式の根拠が説明できるように指導します。

3. 学習習慣・生活習慣の特徴的な結果と今後の改善策について ※ () 内は全国平均。

【学習に関すること】

- (1) 「学習意欲」は、全国に比べ高い傾向にあります。しかし、算数を「好き」と答えた児童の割合は、全国平均を下回りました。

学習課題に対して「自ら考え、自分から取り組んでいたと思う」86.9% (77.8%)

国語「大切だと思う」97.8% (91.3%) 「役に立つ」94.5% (89.2%)

算数「大切だと思う」92.3% (91.9%) 「役に立つ」93.4% (89.9%)

算数は、大切だ・役に立つと考えている一方で、「新しい問題を解いてみたい」と答えた児童が64.9% (75.8%)、「様々な解き方を考えたい」と答えた児童が73.7% (81.0%)と、学習意欲に課題が見受けられました。今後は、実生活に基づくよう学習課題を工夫したり、具体操作を通して理解を確実にしたりすることで、今まで以上に子どもが学習に意欲的に取り組める授業を目指します。

- (2) 国語「文章を読むとき、段落や話のまとまりごとに内容を理解しながら読んでいますか」について、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた児童は86.8% (78.1%)でした。文章を構造的に理解しながら読み進めています。一方で、算数「公式やきまりを習うと、そのわけを理解するようにしていますか」について、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた児童は77.0% (80.8%)でした。今後は、どうしてその公式になるのか友達と説明し合ったり、既習事項を生かして求め方を考えたりする活動を授業の中で取り入れることで、理解を確実にしていきます。

- (3) 「学校の授業時間以外に、普段1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか」について「2時間以上」の児童が46.2% (25.5%)でした。学校外での学習時間が多いことが分かります。また、「家で、学校の宿題をしていますか」に対して「している」「どちらかといえば、している」と答えた児童は合わせて100%でした。宿題を家でやる習慣が身に付いてきていることが分かります。

【生活に関すること】

- (1) 本校児童の地域行事への参加率は75.8%です。また、「地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか」に対して「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と答えた児童が70.3%と、全国平均よりも10%程度多いことから、地域社会の中で生き、地域をよりよいものにしていきたいと願っている児童が多いことが分かります。

- (2) 「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた児童は、97.8%でした。いじめは絶対にあってはならないことであるという徹底した指導を引き続き行っていくとともに、困ったことがあったら相談できる人間関係作りを大切にしていきます。

- (3) 「自分にはよいところがあると思いますか」の質問に対し、肯定的に答えた児童は74.8% (76.3%)でした。2割以上の児童が自分の個性を否定的に捉えています。普段の授業、生活の中で、児童本人が周りの人から認められる場を大切にしたり、教師が一人ひとりのよさを認め、褒めたりすることで自己肯定感をもって毎日の生活を送ることができるようにしていきます。一人ひとりが自信をもって生き生きと輝けるよう、ご家庭のご支援・ご協力をお願いします。